

# 高性能林業機械の導入により 間伐作業が着実に進んでいます



間伐作業など木材生産を低コストで行うためには、機械化を進めることが必要です。写真の機械はフォータダといって、伐採した後で玉切りした間伐材をつかんで荷台の上に載せ、集積場まで運搬するための車両です。

急斜面が続く間伐施工地で、1本100kg以上もある丸太を軽々と持ち上げて荷台にまとめて積み込み、パワフルに運び出すフォ

ータダは作業の効率化に役立っています。長野県では、林業の再生に向けた体制づくりを推進するため、施業の集約化（分散した個々の所有森林を集団的にとりまとめて、一括して施業を行うこと）や作業道の整備に加え、これらと組み合わせた先進的な高性能林業機械の導入・更新とともに、これらをフル活用して、より効率的な作業システムの普及を推進しています。

【佐久市 曲久保団地全景】

